

Charomid 9-36 DNA

I. 製品説明

本品は、λ ファージベクターの高いクローン化効率を保持しながら、クローン化可能な 9 つの制限酵素切断部位を持ち、さらにプラスミドベクターへのサブクローン化を行わずに、Charomid ベクター上のスペーサーフラグメントを除去するだけでサブクローン化できるクローニングベクターです。

II. 保存

-20°C

III. 起源

Charomid 9-36 を保持した *E.coli* DH1

IV. 全長

全長: 36.0 kbp

スペーサー (2,047 bp) 数: 15

挿入可能な DNA サイズ(kbp) : 2~16

V. 形状

10 mM Tris-HCl (pH 8.0)

1 mM EDTA

VI. 品質試験

- 1) ヌクレアーゼコンタミ試験
- 2) 制限酵素切断試験
- 3) 形質転換試験

VII. 備考

- ・ 使用例など詳しくはニッポンジーンのホームページを参照して下さい。
<http://nippongene.com/>
- ・ Charomid ベクターは、Imperial Cancer Reserch Fund が、その全権利を有するクローニングベクターです。
- ・ Charomid 9-36 DNA は 2 kbp 以上の DNA 断片が挿入されない限りパッケージングされないため、制限酵素で開環した後の脱リン酸化処理を特に必要としない。

本品は、試薬(試験研究用)として販売しているものです。
医薬品の用途には使用しないでください。